

○ 招 集 告 示

蓮白衛組告示第29号

平成25年第4回（9月）蓮田白岡衛生組合議会定例会を次のとおり招集する。

平成25年9月27日

蓮田白岡衛生組合
管理者 中 野 和 信

1 期 日 平成25年10月4日（金）午前9時

2 場 所 蓮田白岡衛生組合大会議室

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

平成25年第4回定例会 会期 10月4日 1日間

応招議員（11名）

1番	山	口	博	史	議員	2番	石	原	富	子	議員		
3番	森		伊	久	磨	議員	4番	黒	須	大	一	郎	議員
5番	中	野	政	廣	議員	6番	本	橋		稔	議員		
7番	菱	沼	あ	ゆ	美	議員	8番	成	田	能	祥	議員	
10番	大	倉	秀	夫	議員	11番	栗	原		勇	議員		
12番	鬼	久	保	二	郎	議員							

不応招議員（1名）

9番 遠 藤 誠 議員

平成25年第4回（9月）蓮田白岡衛生組合議会（定例会）会議録

平成25年10月4日（金曜日）

議事日程（第1号）

- 1 開 会
- 2 開 議
- 3 会議録署名議員の指名
- 4 会期の決定
- 5 諸報告
- 6 管理者提出議案の報告並びに上程
- 7 議案第14号、議案第15号の一括上程
- 8 管理者提出議案の総括説明
- 9 議案第14号の内容説明
- 10 議案第14号に対する質疑
- 11 討 論
- 12 採 決
- 13 議案第15号の内容説明
- 14 議案第15号に対する質疑
- 15 討 論
- 16 採 決
- 17 副管理者のあいさつ
- 18 閉 会

午前8時57分開会

出席議員（11名）

1番	山口博史	議員	2番	石原富子	議員
3番	森伊久磨	議員	4番	黒須大一郎	議員
5番	中野政廣	議員	6番	本橋稔	議員
7番	菱沼あゆ美	議員	8番	成田能祥	議員
10番	大倉秀夫	議員	11番	栗原勇	議員
12番	鬼久保二郎	議員			

欠席議員（1名）

9番 遠藤誠 議員

議長より出席要求者

小熊康由	蓮田市 環境課長	斉藤俊治	白岡市 環境課長
内田薫	代表 監査委員		

説明のための出席者

中野和信	管理者	小島卓	副管理者
細井良江	会計 管理者	千代康弘	事務局長
黒崎晃	庶務課長	斉藤晃	廃棄物 対策課長
山崎喜紀	リサイクル 推進課長	小林秀之	施設課長

事務局職員出席者

書記 土橋秋宏	書記 藤井勇年
書記 中太裕司	書記 片岡司
書記 高橋利男	書記 河井宏
書記 塚越忍	

◇

◎開会の宣告

(午前8時57分)

○黒須大一郎議長 9月定例議会のご案内を申し上げましたところ、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。

ただいまの出席議員は11名であります。定足数に達しておりますので、これより平成25年第4回蓮田白岡衛生組合議会定例会を開会いたします。

◇

◎開議の宣告

○黒須大一郎議長 直ちに本日の会議を開きます。

◇

◎会議録署名議員の指名

○黒須大一郎議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第77条の規定により、議長において

6番 本 橋 稔 議員

7番 菱 沼 あゆ美 議員

を指名いたします。

◇

◎会期の決定

○黒須大一郎議長 日程第2、会期についてお諮りいたします。

本定例会の会期は、本日10月4日の1日といたしたいと思いますが、これにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 異議なしと認め、さよう決定いたします。

◎諸報告

○黒須大一郎議長 日程第3、諸報告をいたします。

管理者から、地方自治法第180条第2項の規定に基づき、専決処分がありましたので、お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

次に、本定例会に説明員として出席する者の職、氏名を一覧表としてお手元に配付しておきましたので、ご了承願います。



◎管理者提出議案の報告並びに上程

○黒須大一郎議長 日程第4、管理者提出議案の報告並びに上程を行います。

事務局に朗読をいたさせます。

千代事務局長。

〔事務局長朗読〕

○黒須大一郎議長 ただいま報告いたしました議案は、あらかじめお手元に配付しておきましたので、ご了承願います。



◎議案第14号、議案第15号の一括上程

○黒須大一郎議長 議案第14号及び議案第15号を本定例会に上程いたします。



◎管理者提出議案の総括説明

○黒須大一郎議長 日程第5、管理者提出議案の総括説明を求めます。

中野管理者。

○中野和信管理者 皆さん、おはようございます。黒須大一郎議長さんのお許しをいただきましたので、提出議案につきましてご説明を申し上げたいと存じますが、その前に一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成25年第4回蓮田白岡衛生組合議会定例会が開催されますことに、まずもって厚く御礼を申し上げます。また、議員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご参集

を賜り、まことにありがとうございます。日ごろ両市をはじめ当組合進展のため皆様には多大なるご尽力を賜っておりますことに、重ねて御礼を申し上げる次第であります。

それでは、提出議案につきまして総括説明をさせていただきます。

初めに、議案第14号 平成25年度蓮田白岡衛生組合一般会計補正予算（第2号）でございます。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,539万5,000円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21億1,609万7,000円とするものでございます。

歳入につきましては、前年度繰越金並びに雑入として5種類の売却費の増収を計上するものでございます。

歳出につきましては、総務費として、当組合ホームページを新しく作成するための費用及び両市に対する前年度分担金の精算金、並びに施設整備基金として将来における施設整備の財源を確保するための積立金をお願いするものでございます。また、工事請負費としましては、環境センター施設内の舗装部分の補修工事費用並びにクレーン整備工事費用をお願いするものでございます。

次に、議案第15号 平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出予算につきましては、去る5月31日をもって出納検査をしたところでございます。歳入総額は17億3,621万4,235円、歳出総額は16億4,396万1,448円でございます。歳入歳出の差引額は9,225万2,777円でございます。実質収支額につきましても同額でございます。この結果につきましては、地方自治法第233条第2項の規定に基づき、監査委員さんの審査をいただいておりますので、意見書を付してご提案を申し上げるものでございます。詳細につきましては、後ほど事務局からご説明申し上げます。

以上、提出議案の総括説明をさせていただきました。慎重審議の上、ご可決、ご認定を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。ありがとうございました。

○黒須大一郎議長 管理者提出議案の総括説明が終わりました。



◎議案第14号の内容説明

○黒須大一郎議長 日程第6、議案第14号 平成25年度蓮田白岡衛生組合一般会計補正予算（第2号）の件を議題といたします。

朗読を省略して、内容説明を求めます。

千代事務局長。

○千代康弘事務局長 平成25年度蓮田白岡衛生組合一般会計補正予算（第2号）につきまして内容説

明を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,539万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21億1,609万7,000円とするものでございます。

内容につきましては、説明書の事項別明細書によりご説明申し上げたいと思います。それでは、3ページをお開きください。まず歳入でございますが、4款繰越金、1項繰越金、1目繰越金につきましては、前年度繰越金として4,225万3,000円を追加計上するものでございます。

5款諸収入、1項雑入、1目雑入につきましては、有償入札により5種類の売却単価が増加したことにより、1,314万2,000円を追加計上するものでございます。

次に、4ページの歳出につきましてご説明申し上げます。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、13節委託料のホームページ作成業務委託料につきましては、本年4月5日に開館しましたリサイクルプラザにおけるリサイクル活動の情報発信を行うため、当組合ホームページのリニューアルに要する費用をお願いするものでございます。

次に、23節償還金利子及び割引料につきましては、前年度分担金精算金として、前年度分担金の負担割合によりまして蓮田市54.162%、白岡市45.838%の割合で両市に精算金として返還するものでございます。

次に、25節積立金につきましては、施設整備基金として蓮田白岡衛生組合施設整備基金条例に基づき、将来への施設整備に必要な財源を確保するため、本年度から毎年2,500万円をめぐりに積み立てを行うものでございます。

次に、2目財産管理費、11節需用費につきましては、修繕料として事務用パソコンの破損等の補修修理に要する費用として計上するものでございます。

次に、15節工事請負費につきましては、環境センター舗装補修工事費として、環境センター施設内の舗装部分が傷んでいることから舗装補修工事を行う費用を計上させていただいたものです。

最後に、3款衛生費、1項清掃費、2目じん芥処理費、15節工事請負費につきましては、クレーン整備工事として、本年度のクレーン自主検査時に部品交換及び整理が必要とされたごみクレーン、灰クレーン、粗大ごみクレーンの整備工事を行うものでございます。

以上で説明を終わります。

○黒須大一郎議長 説明が終わりました。



◎議案第14号に対する質疑

○黒須大一郎議長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

1 番、山口議員。

○1 番 山口博史議員 1 番、山口博史です。

クレーン整備工事費についてということなのですが、内容としてはどのようなものなのでしょうか。ちょっと内容を詳しく教えていただければと思うのですが。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 今年度、クレーン自主検査時、25年8月ですが、業者による点検等行ったところ、整備交換が必要とされましたごみクレーン、灰クレーン、焼却灰のクレーンですが、また粗大ごみクレーンの整備工事を行うものでございます。共通して言えることは、ごみクレーンのつりチェーンの摩耗が非常に激しいということで、つりチェーンの交換。また、巻き上げ用のブレイユニットがやはり消耗しておりまして、かなりこれはうなり音が発生しているという状況でございます。また、粗大ごみクレーンにおきましては、インバーターの交換、またバケットを入れかえるということの工事が主な内容でございます。

以上でございます。

〔「はい、了解です」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

2 番、石原議員。

○2 番 石原富子議員 2 番、石原です。古紙類売却の件でお伺いいたします。

これ、先ほだのご説明だと、古紙の売却が上がったというお話でしたけれども、これが昨年だったらどのくらいの金額になったのでしょうか。どのくらい上がってこの金額になったのでしょうか。

○黒須大一郎議長 山崎リサイクル推進課長。

○山崎喜紀リサイクル推進課長 古紙の価格ですけれども、個別に申し上げたほうがよろしいでしょうか。

〔「いえ、全部で」と言う人あり〕

○山崎喜紀リサイクル推進課長 はい。例えば新聞ですね、新聞が9円から13.65円、約4.65円の上昇。雑誌につきましては8円が11.94円、約3.94円の上昇。段ボールにつきましては9円が10.76円、1.76円の上昇。紙パック9円が14.7円、5.7円の上昇。布類につきましては、4円が14.96円、約10円ですね。シュレッダーごみは、2円が12.6円、約10円ほど上昇ということでございます。

以上です。

○黒須大一郎議長 質疑はありませんか。

2 番、石原議員。

○2 番 石原富子議員 今お伺いしますと、かなりの上昇で、これはかなりの収入になると思うのですけれども、今よく報道などで古紙の持ち去りということが問題になっていると思うのですけれども、そういう業者、この蓮田白岡衛生組合での管轄ではそういう業者は見当たりますでしょうか。

○黒須大一郎議長 齊藤廃棄物対策課長。

○齊藤 晃廃棄物対策課長 ただいまのご質問ですけれども、蓮田、それから白岡でも、現に被害が出ております。私どもとしましては、職員によるパトロール、それから岩槻警察署、久喜警察署との合同でのパトロールを実施しております。蓮田市を例にとりますと、今年度に入りまして3件検挙しております。そういう実績がございます。

以上です。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

12番、鬼久保議員。

○12番 鬼久保二郎議員 12番、鬼久保と申します。ちょっとお聞きします。

今、古紙に関連してなのですけれども、年々、要するに年間の回収量ですか、それは推移はどうなっているのですか。古紙に関してです。年度別の推移。

○黒須大一郎議長 山崎リサイクル推進課長。

○山崎喜紀リサイクル推進課長 直近5年でよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○山崎喜紀リサイクル推進課長 平成20年、トータルで言います。9,238トン。21年度、2,932トン。

22年度、2,815トン。23年度、2,689トン。24年度は2,759トンの実績でございます。

〔何事か言う人あり〕

○山崎喜紀リサイクル推進課長 失礼いたしました。平成20年度のを訂正させていただきます。

2,938トンでございます。

以上でございます。

〔「もう一度読み上げていただけますか。早口で」と言う人あり〕

○山崎喜紀リサイクル推進課長 済みません。では、もう一回ゆっくりと申し上げます。

平成20年度、2,938トン。21年度、2,932トン。22年度、2,815トン。23年度、2,689トン。24年度が2,759トン。以上でございます。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

12番、鬼久保議員。

○12番 鬼久保二郎議員 ただいまのを聞いていますと、年度別の、回収量が余りふえていないというか、余り推移がふえていないのですけれども、これはどういうところに原因していると思いますか。例えば、新聞が年々減っているとか、そういう傾向は、そういうのはわかりますか。

○黒須大一郎議長 山崎リサイクル推進課長。

○山崎喜紀リサイクル推進課長 個別の傾向……全体の数量で今申し上げたのですけれども、発生量の問題であって、それがどう出るということは、一般家庭から排出されるものなので、これがどうふえるか減るかというのはちょっと予測しがたいです。

以上です。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

12番、鬼久保議員。

○12番 鬼久保二郎議員 了解しました。ただ、私は、リサイクルのほうからいいますと、もう少し量的に、いろいろ新聞屋さんとかP T Aが集めていますけれども、もう少しリサイクルを市民に呼びかけて、リサイクルをふやしたほうがいいのではないかと思って意見を述べました。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

7番、菱沼議員。

○7番 菱沼あゆ美議員 7番、菱沼です。

今の古紙のそれぞれの単価が上がったということなのですが、それに対して、住民の方々に、これだけ単価が上がっているというような公表をするといいのかなと思っております。そうしますと、住民の方の意識が、ああ、これはごみではなく、やはり市の収入に通じるのだと。また、衛生組合のほうで収入として扱っているのだという意識が高くなるのではないかなと思っております。この単価に対しての住民への周知というのはどのように行っていますでしょうか。

○黒須大一郎議長 山崎リサイクル推進課長。

○山崎喜紀リサイクル推進課長 今の住民へのP Rという質問でございますけれども、個々の単価の上昇とかというのは今現在P Rを行っておりません。

以上です。

○黒須大一郎議長 7番、菱沼議員。

○7番 菱沼あゆ美議員 行っていないということなので、やはり単価のお知らせというのは住民の方にとってはとてもわかりやすくなることだと思いますので、ぜひ何かしらの取り組み、このホームページをリニューアルされるのであれば、そういった場所ですとか、また皆様にお配りする広報ありますね、あの紙面に載せていただくとか、積極的にP Rを行って歳入をふやしていただけたらと要望いたします、終わります。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

5番、中野議員。

○5番 中野政廣議員 5番、中野政廣です。

歳出の財産管理費の中の15節工事請負費、環境センター補修工事となっておりますが、金額として400万ぐらいの金額となっておりますけれども、これは具体的にどのような工事なのか、ちょっと教えていただきたいのですが。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 主な内容としましては、舗装修繕工事費、雨水排水工事費、区画線工事費というような内容でございます。舗装補修工事費につきましては、こちらの施設内、大きな車が非常に

出入り等している状況でございまして、舗装も10年以上直していない箇所がございます。そういった関係で、かなり陥没しているところ、クラック等入っているところがございます。そういった中の今回は約525平米を舗装板撤去しまして、さらに不陸整正、路盤工、表層工というような内容で525平米を直す費用。また、非常に、今新しくできましたリサイクルプラザの前のほうのところなのですけれども、かなり今水たまりができる状況でございまして、そちらのほうの一部側溝布設、浸透ますの対応と、そのような形の内容の工事をする予定でございまして。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。



◎討 論

○黒須大一郎議長 これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 反対討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。



◎採 決

○黒須大一郎議長 これより採決に入ります。

議案第14号 平成25年度蓮田白岡衛生組合一般会計補正予算（第2号）について、原案のとおり可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○黒須大一郎議長 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。



◎議案第15号の内容説明

○黒須大一郎議長 日程第7、議案第15号 平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算認定についての件を議題といたします。

ここで、内田代表監査委員の出席を求めるため、暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時20分

再開 午前 9時22分

○黒須大一郎議長 再開いたします。

現在員11名でございます。

休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第15号 平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について、朗読を省略して、内容説明を求めます。

細井会計管理者。

○細井良江会計管理者 皆さん、おはようございます。それでは、平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。

決算書のページは、1ページから4ページまででございます。初めに、歳入についてご説明申し上げます。恐れ入りますが、決算書の1ページ、2ページをお開きいただきたいと思います。1款分担金及び負担金から6款組合債まででございます。1ページの一番下の歳入合計欄をごらんいただきたいと思います。予算現額17億2,665万1,000円に対しまして、収入済額は17億3,621万4,235円でございます。予算現額に対しまして100.6%でございます。この収入済額17億3,621万4,235円を前年度収入済額と比較いたしますと、9,061万9,270円、5.5%の増となっております。

1ページの上に戻りまして、1款分担金及び負担金でございます。この1款につきましては、歳入合計の60.8%と半分以上を占めております。その中の1項分担金でございますが、予算現額9億8,034万1,000円に対しまして、収入済額も同額でございます。これにつきましては、組合規約に基づきました両市の分担金でございます。

次に、2項負担金でございますが、予算現額7,531万4,000円に対しまして、収入済額は7,534万5,620円でございます。これにつきましては、両市の不燃物収集運搬にかかわります経費の負担金でございます。

次に、2款使用料及び手数料でございます。1項手数料でございますが、予算現額3億2,702万1,000円に対しまして、収入済額は3億3,372万3,630円でございます。収入率は100.2%でございます。これにつきましては、ごみ及びし尿の収集処理手数料でございます。

次に、3款国庫支出金でございます。1項国庫補助金でございますが、予算現額6,273万1,000円に対しまして、収入済額も同額でございます。収入率は100%でございます。これにつきましては、広域的かつ総合的にリサイクル施設の整備計画を推進するためのリサイクルプラザ併設型ストックヤード施設整備費として環境省から交付された循環型社会形成推進交付金でございます。

次に、4款繰越金でございます。1項繰越金でございますが、予算現額7,429万6,000円に対しまして、収入済額7,429万5,905円でございます。これにつきましては、前年度からの繰越金でございます。

次に、5款諸収入でございます。その中の1項預金利息でございますが、予算現額1,000円に対しまして、収入済額は2,005円でございます。

次に、2項雑入でございますが、予算現額8,054万7,000円に対しまして、収入済額は8,337万5,075円でございます。収入率は103.5%でございます。これにつきましては、鉄、アルミ、ペットボトル、古紙類などの資源回収物の売却収入が主なものでございます。

次に、6項組合債でございます。1項組合債でございますが、予算現額1億2,640万円に対しまして、収入済額も同額でございます。収入率は100%でございます。これにつきましては、リサイクルプラザ併設型ストックヤード建設工事債として、財務省の財政融資資金と埼玉県のふるさと創造貸付金を借り入れたものでございます。

次に、2ページの収入未済額でございますが、これにつきましては、2款使用料及び手数料に係る収入未済額16万4,400円でございます。これは、平成23年度においてごみ搬入許可業者である1社の倒産によります搬入ごみ手数料の未済分でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。3ページ、4ページをお開きいただきたいと思います。1款議会費から5款予備費まででございます。3ページ一番下の歳出合計欄をごらんいただきたいと思います。予算現額17億2,665万1,000円に対しまして、支出済額は16億4,396万1,458円でございます。執行率は95.2%でございます。この支出額16億4,396万1,458円を前年度支出額と比較いたしますと、7,266万2,398円、4.6%の増となっております。

最初に、1款議会費でございます。予算現額118万8,000円に対しまして、支出済額は105万1,570円でございます。執行率は88.5%でございます。

次に、2款総務費でございます。予算現額5億7,493万6,000円に対しまして、支出済額5億7,101万8,450円でございます。執行率99.3%でございます。

次に、3款衛生費でございます。予算現額10億4,121万6,000円に対しまして、支出済額9億6,801万6,162円でございます。執行率は93.0%でございます。

次に、4款公債費でございます。予算現額1億431万1,000円に対しまして、支出済額1億387万5,276円でございます。執行率99.6%でございます。

次に、5款予備費でございます。予算現額500万円に対しまして、支出済額はゼロ円でございます。

す。

恐れ入りますが、次の19ページをお開きいただきたいと思います。事項別明細書の最後のページになりますが、一番下に歳出合計欄がございます。当初予算額は17億5,497万3,000円でしたが、補正予算額で2,832万2,000円を減額補正しましたので、予算現額は17億2,665万1,000円となったものでございます。

次に、ページを2枚送っていただきまして、21ページをお開きいただきたいと思います。実質収支に関する調書でございます。歳入総額17億3,621万4,000円から歳出総額16億4,396万1,000円を差し引きいたしました歳入歳出差引額は、9,225万3,000円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、この9,225万3,000円が実質収支額となるものでございます。

次に、22ページ、23ページをお開きいただきたいと思います。財産に関する調書でございます。22ページに記載してあります土地につきましては、前年度と変更がありませんので、前年度末現在高と決算年度末現在高は同じでございます。

23ページに記載してあります建物につきましては、平成24年度にリサイクルプラザ併設型ストックヤードの建設を行いましたので、財産として計上いたしました。リサイクルプラザの建物の延べ面積は673.89平方メートル、屋内ストックヤードの建物の延べ面積は400.15平方メートル、合わせて1,074.04平方メートルを新たに計上しております。

最後に、24ページをお開きいただきたいと思います。物品につきましては、表の下から4つのが24年度中に新しく計上したものでございます。まず、管理棟にデジタル交換機1台を設置いたしました。表の下から3番目に記載されているものでございます。次に、リサイクルプラザに、映像音響設備一式、薪ストーブ1台、デジタル複合機1台を設置いたしました。

以上で平成24年度一般会計歳入歳出決算概要につきましての説明を終わらせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○黒須大一郎議長 会計管理者の説明が終わりました。

事務局から細部説明を求めます。

千代事務局長。

○千代康弘事務局長 平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算の主な内容につきましてご説明申し上げます。

お手持ち資料の歳入歳出決算書の5ページ、6ページをお開きください。まず、歳入から申し上げます。1款1項1目分担金につきましては、組合同約第13条に基づきまして、均等割25%、人口割75%に相当する額を両市にご負担いただいたものでございます。案分率で蓮田市が54.162%、白岡市が45.838%の割合でご負担いただきました。

次の2項1目負担金につきましては、不燃物収集運搬に係る経費の負担金でありまして、組合同約第13条第1項第2号及び組合条例に基づき、1世帯につき月額140円を両市でご負担いただいた

ものでございます。ちなみに、蓮田市で延べ30万8,589世帯分、白岡市で延べ22万9,594世帯分となっております。

次に、2款1項1目手数料の1節ごみ手数料の関係でございますが、備考欄に記載されている順でご説明いたします。まず、一番上のごみ処理手数料（有料指定袋）につきましては、燃えるごみ、金属類用及び10月から開始されました燃やせないごみ用の有料指定ごみ袋の販売量440万6,625枚の販売額でございます。これを平成24年4月1日現在の世帯数4万4,893世帯で換算いたしますと、1世帯当たり年間で使用された袋の枚数は約98枚でございます。金額にいたしますと、1世帯当たりで約4,486円でございます。前年度では1世帯当たり103枚、金額で4,679円でありましたので、これと比較いたしますと、総額で628万1,250円ほどの減額となっております。この要因としましては、昨年10月から分別変更等によりまして、金属類にかわり、燃やせないごみの指定袋を5枚入りに変更したものと推測いたします。

次の搬入ごみ手数料でございますが、住民や許可業者が直接組合に持ち込んだ廃棄物の処理手数料でございます。この処理手数料は、条例に基づきまして、一般廃棄物が10キロ当たり150円、産業廃棄物が10キロ当たり250円の手数を徴収したものでございます。年間で4万2,053件分でございます。前年度比で91件の増でございます。

また、収入未済額の16万4,400円につきましては、越谷市内に事務所を構えておりました株式会社三起産業の搬入ごみ手数料でございます。当社は、破産法に基づき、平成24年3月9日付にて破産手続が開始され、破産管財人による債権整理がなされておりますが、本年度8月22日に東京地方裁判所から破産手続終結の決定が出され、その結果一般債権の配当金はなく、平成25年度において不納欠損として処理を行っていく予定であります。

次の官公庁ごみ収集手数料につきましては、平成23年度までは、役所、学校及び公園などにおけるごみ収集手数料を徴収していたところでございますが、平成24年度は指定管理を受けている公共施設の16万2,000円でございます。蓮田市が4カ所、白岡市が5カ所の計9カ所分でございます。

次の粗大ごみ処理手数料につきましては、粗大ごみを直接各家庭まで取りに伺い、品目ごとに収集した処理手数料でございます。主なものは、布団、ソファー、タンス、机及び自転車などでございます。年間で2,459件、6,238品目を収集したものでございます。前年度比で156件の減でございます。

次の医療系廃棄物処理手数料につきましては、市内の開業医などから排出されます感染性廃棄物の定着液などの処理手数料で、延べ225件の依頼を受け、延べ814個の処分をしたものでございます。

次の廃タイヤ、バッテリー、消火器手数料につきましては、年2回開催しております廃タイヤ、廃バッテリー、消火器引き取り会での引き取り手数料でございます。持ち込まれた件数は214件で、前年度と比較して28件の増であります。

次に、産業廃棄物（廃プラスチック類）収集運搬処分手数料につきましては、平成24年度より事

業化したものでありまして、市内80カ所の事業所から排出される廃プラスチックを当組合指定のごみ袋を用いて収集し、処分したものでございます。

次の2節し尿手数料の関係ですが、し尿汲取処理手数料につきましては、一般家庭においての清掃券取り扱い分でございます。1世帯につき月額400円、1人につき月額350円の汲取手数料でございます。

次のし尿量目汲取処理手数料につきましては、簡易水洗トイレや臨時の汲み取りでございます。10リットル当たり90円を徴収した汲取手数料でございます。

次のし尿処理施設使用手数料につきましては、浄化槽汚泥の収集運搬許可業者3社に対しまして、1.8キロリットルにつき230円を徴収した施設使用手数料でございます。

次に、し尿汲取処理手数料滞納繰り越し分の1,100円につきましては、既に死亡されている方の平成20年度のし尿汲取手数料1件分を収入未済額として繰り越しをしていましたが、3年間余りにわたり相続人の方に支払い請求を行い、平成24年6月13日付にて相続人の方からご入金されたものでございます。

次に、3款1項1目衛生費国庫補助金、1節循環型社会形成推進交付金につきましては、リサイクルプラザ併設型ストックヤード建設工事及び施工管理業務委託が循環型社会形成推進交付金の対象になっておりますので、交付対象額の3分の1の額が交付されたものでございます。

続きまして、7ページ、8ページをお願いいたします。次に、4款1項1目繰越金につきましては、前年度繰越金で、収入済額としての7,429万5,905円でございます。

次に、5款1項1目組合預金利子につきましては、6月29日から8月29日までの61日間の資金運用を行ったものでございます。

次に、2項1目雑入の関係でございますが、まず鉄・アルミ売却につきましては、鉄プレス315トン、アルミプレス183トンなどを売却したのですが、前年度と比較しますと、売却単価が1キログラム当たり鉄プレスにあつては34円程度が22円程度まで下落し、アルミプレスにあつては100円程度から77円程度まで下落したことにより、約533万円の減収となっております。

次に、ペットボトル売却につきましては、ペットボトル及びペットボトルキャップ約232トンの売却益でございます。前年度と比較しますと、鉄・アルミ同様、売却単価が1キログラム当たり78円程度から50円程度まで下落したことにより、約699万円の減収となっております。

次に、古紙類売却（ステーション収集分）につきましては、各集積所から収集する新聞・雑誌等の古紙類を売却したもので、次の古紙類売却（組合内回収分）につきましては、住民が当組合へ直接搬入したごみの中から回収した雑誌、段ボール、布類などでありまして、前年度と比較しますと、新聞・雑誌、段ボールともに1キログラム当たり2円ほど売却単価の値上がりによりまして、ステーション収集分及び組合内回収分等合わせまして716万円ほど増収となっております。

次に、リサイクル家具売却につきましては、年2回実施しておりますリサイクル品展示販売会に

おける家具等の売却収益でございます。

次に、家電製品売却につきましては、原型のままリユース、再使用できるスピーカー、ラジカセ、DVDプレーヤー、エレキギター、ミシンなどの家電製品等を買取り業者に売却した収益でございます。

次に、その他雑入ですが、容器包装リサイクル協会からペットボトルの平成24年度有償入札拠出金として267万4,957円、東京電力福島第一原子力発電所の事故に起因する対策費用の請求に対する損害賠償金として93万1,225円、自動販売機3台の電気使用料、職員駐車場代などが主なものでございます。なお、詳細につきましては、お手持ち資料の主要な施策に関する説明書の17ページをご参照いただければと思います。

次に、6款1項1目衛生費の1節廃棄物処理施設整備債につきましては、昨年度実施いたしましたリサイクルプラザ併設型ストックヤード建設工事及び施工管理業務委託に際して、全体額1億9,819万650円のうち、補助対象事業費1億8,819万5,000円から交付された交付金6,273万1,000円を控除した金額の90%を国からの財政融資資金として1億1,290万円、その残りの75%を埼玉県のふるさと創造貸付金の1億350万円をそれぞれ借り入れたものでございます。

続きまして、歳出につきましてご説明いたしますので、9ページ、10ページをお願いいたします。1款1項1目議会費につきましては、議会運営に要した経費でございます。1節報酬から11節需用費までは省略させていただきます。

12節役務費につきましては、議会開催用の通知用切手代として要した経費でございます。

次に、13節委託料につきましては、定例議会の会議録調製委託料に要した経費でございます。

次に、14節使用料及び賃借料につきましては、議会視察研修として、市町村や事業所から排出された焼却灰及び汚泥の適正処理とリサイクルにおいて、先進的な技術を有する彩の国資源循環工場の視察の際に要したバス借上料でございます。

次に、2款1項1目一般管理費につきましては、1節報酬として、廃棄物減量等推進審議会委員の報酬は、審議会委員20名分の報酬でございます。2回開催し、延べ32名の参加がございました。

2節給料から5節災害補償費までは、職員33名に係る人件費等でございます。

次に、7節賃金につきましては、平成24年4月から平成25年3月までの間に、週2日ないし3日の勤務で事務仕事の補助として臨時職員をお願いしたものでございます。

続きまして、11ページ、12ページをお開きください。8節報償費につきましては、リサイクルプラザ建設に伴い、両市内の小中学生に愛称募集を行い、入賞者16名に対して1名当たり500円の図書券を贈呈した費用でございます。

次に、9節旅費につきましては、費用弁償として廃棄物減量等推進審議会委員への支払いでございまして、延べ32名分の費用弁償でございます。次に、普通旅費につきましては、職員の旅費でありまして、処分先などの現地確認、あるいは県庁等への出張旅費でございます。次の特別旅費につ

きましては、職員研修として環境省で行われました廃棄物関係の宿泊研修へ参加した費用でございます。

次に、11節需用費につきましては、消耗品費として書籍、コピー機カウンター料、プリンタートナー、コピー用紙などの経費でございます。また、平成24年10月の分別収集変更に伴い、ペットボトル収集に要する収集用網袋1万3,200袋の購入に要した経費でございます。

次に、燃料費につきましては、庁用車への燃料代になります。

次に、食糧費につきましては、関係地区環境保全連絡協議会懇親会及び昼食に要した経費でございます。

次の印刷製本費につきましては、全世帯に配布しておりますごみ収集日程表、環境センターだより（第46号から第48号）、蓮田白岡衛生組合の名称変更に伴うし尿、清掃券、搬入ごみ用の計量伝票等の作成に要した経費が主なものでございます。

次に、12節役務費につきましては、通信運搬費として事務用の一般電話4回線、携帯電話1回線、粗大ごみの受け付けや指定ごみ袋の注文受け付けのインフォメーションセンターへの電話3回線の電話料金と郵便料に要した経費でございます。

次の指定金融機関事務取扱手数料につきましては、指定金融機関である埼玉りそな銀行蓮田支店との契約に伴う事務取扱手数料として要した経費でございます。

次に、JANコード手数料及びクレーン登録事項書きかえ手数料につきましては、蓮田白岡衛生組合の名称変更に伴う変更申請料でございます。

次の13節委託料につきましては、職員健康管理業務委託料として職員33名分の年1回の定期健康診断や深夜勤務者に対する6カ月の健康診断に要した費用でございます。

それでは、飛びまして、次に18節備品購入費につきましては、庁用器具費としてデジタルカメラ、事務椅子、電算端末4台、デジタル複合機など購入をした経費でございます。

13ページ、14ページ、お開きをお願いいたします。23節償還金利子及び割引料でございますが、前年度分担金精算金として両市へ支払いをした精算金でございます。

次に、13節委託料の高圧電気設備細密点検業務委託料につきましては、電気事業法第42条に基づくごみ処理施設、し尿処理施設等の各受電設備の年次点検業務に要した費用でございます。

次に、少し飛びまして、リサイクルプラザ併設型ストックヤード施工管理業務委託料につきましては、建設工事の施工管理委託に要した費用でございます。

次に、工事請負費のほうに移らせていただきたいと思います。リサイクルプラザ併設型ストックヤード建設工事につきましては、それぞれの建築工事、電気設備工事、機械設備工事に要した経費でございます。

15ページ、16ページのほうをお開き願いたいと思います。委託料のほうへ移らせていただきたいと思います。失礼しました。13節委託料、指定ごみ袋製作及び配送業務委託料として、燃えるごみ

用と燃やせないごみ用のそれぞれ3種類の指定ごみ袋の製作と指定ごみ袋取扱店の配送に要した費用でございます。

その下の粗大ごみ収集受け付け指定ごみ袋注文受け付け業務委託につきましては、インフォメーションセンターにおいて、粗大ごみ収集の予約受け付けや問い合わせ並びに指定ごみ袋取扱店からの注文受け付けを行うことに要した経費でございます。

その下の施設維持管理業務委託料につきましては、粗大ごみ処理施設及びし尿処理施設の運転管理委託に要した費用でございます。

続きまして、じん芥処理費の関係でございますが、中段の薬品費につきましては、ごみ焼却に伴い発生する塩化水素を中和除去する消石灰283トン、窒素酸化物の中和除去をする尿素水9トンのほか、ばいじん処分に必要なキレート剤6トンなどの薬品の購入に要した経費でございます。

17ページ、18ページをお開き願いたいと思います。一番上の燃えるごみ等収集業務委託料につきましては、燃えるごみ、燃やせないごみ、ガラス類、ペットボトル、有害ごみ、資源物のうち、飲食料用缶の収集の委託に要した経費でございます。この収集委託料にあつては、昨年10月から分別収集変更に伴いまして収集品目がふえたものの、収集エリアの見直しによる収集の効率化を図ったことによりまして、前年度対比で80万円ほどの減額になっております。

次の焼却灰、ばいじん等処分委託料につきましては、ごみを焼却する過程で搬出された焼却灰やばいじんなどの処理に要した費用でございます。

少し飛びまして、ガラス等処分業務委託料につきましては、ガラス類、ペットボトル、乾電池、蛍光管、タイヤ、バッテリー、消火器などの処分を委託した経費でございます。

少し飛びまして、資源物収集業務委託料（古紙）につきましては、延べ53万8,400世帯余りの新聞・雑誌及び古紙、布類のほか、段ボール、紙パックの収集に要した経費でございます。

次のごみ処理施設維持管理業務委託料につきましては、ごみ処理施設の運転管理委託に要した経費でございます。

15節工事請負費のほうに移らせていただきたいと思います。焼却炉補修工事につきましては、焼却炉及びガス冷却室のれんが、キャスター、その他の耐火物の摩耗等による劣化部分の補修のために要した経費でございます。

緊急補修工事につきましては、電気設備保守工事、誘引送風機ダクト補修工事、炉のバーナー部品交換工事など約18件の工事に要した経費でございます。

ごみ処理施設機器補修工事につきましては、3号焼却炉の灰押し装置が故障したため、同装置を補修工事した経費でございます。

し尿処理費の委託料のほうに移らせていただきたいと思います。し尿収集業務委託料につきましては、蓮田市及び白岡市のそれぞれの1社に対して、両市の延べ1万2,849世帯分の生し尿の収集を委託した経費でございます。

少し飛びまして、脱水汚泥処分業務委託料につきましては、し尿を処理する過程で発生いたしません脱水汚泥を処分する業務を委託した経費でございます。

19ページ、20ページ、お聞きいただきたいと思います。中段のし尿処理施設データログ更新工事につきましては、施設の運用データを記録保存するデータログ装置の故障に伴う交換更新工事に要した費用でございます。

最後に、4款公債費につきまして申し上げます。地方債の元金でございますが、ごみ処理施設が3件、し尿処理施設が3件、合計6件の元金償還です。また、その下の地方債の利子でございますが、ごみ処理施設が5件、し尿処理施設が3件、合計8件の利子の償還でございます。この償還金等に関しましては、お手持ちの主要施策に関する説明書の12ページと37ページ、38ページに組合債の償還状況等を掲載しておりますので、ごらんいただければと思います。

以上で説明を終わらせていただきます。

○黒須大一郎議長 事務局からの説明が終わりました。

ここで、代表監査委員の監査報告をお願いいたします。

内田代表監査委員。

○内田 薫代表監査委員 おはようございます。ただいま議長からご指名をいただきました内田薫でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算の審査を9月11日に行いまして、大倉監査委員と合議により作成いたしましたお手元の決算審査意見書に基づきまして、2人を代表してご報告を申し上げます。

審査に当たりましては、決算書、事項別明細書並びに実質収支に関する調書及び財産に関する調書につきまして、管理者から地方自治法第233条第2項の規定により審査に付されました附属書類等につきまして、歳入歳出にかかわる関係帳簿と証拠書類を照合審査した結果、関係書類はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものと認められました。

恐れ入りますが、9ページをお聞きいただきたいと思います。「結び」といたしまして、2点ほど要望をいたしました。

1点目でございますが、決算書による不用額は総額8,268万9,542円で、特に衛生費においては、7,319万9,838円という多額の不用額が見られます。当組合の歳入のうち、蓮田市、白岡市の両市での分担金及び負担金は歳入総額の60.8%を占めていることから、両市の負担を軽減するためにも、予算執行計画表による確実な予算執行と早期の決算見込みを行い、適正な予算措置を講じることを要望いたします。

2点目といたしまして、有料指定袋を販売する取扱店のごみ処理手数料の納入期限が守られていないものや、し尿汲み取り手数料についても納入期限が過ぎて納入されているものが見受けられましたので、納入期限内に納付するよう指導の徹底をすることを要望いたします。

以上で決算審査の報告を終わらせていただきます。よろしくどうぞお願いいたします。

○黒須大一郎議長 代表監査委員の報告が終わりました。



◎議案第15号に対する質疑

○黒須大一郎議長 これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

3番、森議員。

○3番 森 伊久磨議員 3番、森伊久磨でございます。

まず、決算規模というのが毎年、平成22年度からこの3年間で、歳出ベースですけれども、平成22年度で14億3,000万、平成23年度で15億7,000万、平成24年度の決算で16億4,000万、この2年間で2億1,000万の歳出ベースでの決算規模が大きくなっている、増加しているということなのですね。先ほど監査報告にありましたように、実質収支は9,200万円の黒字、歳出ベースで決算規模は大きくなっているのだけれども、9,200万円の黒字。さらに不用額が総額8,200万円、そのうちの衛生費が7,200万円であると。そこからもう少し数字を追っていくと、衛生費の中のじん芥処理費、これが5,300万円、そのうちの委託料が4,200万円、これが一番大きな不用額のメインとなっているものだと思うのです。まず1つ、そのじん芥処理費5,300万円のうちの委託料4,200万円、不用額のメインとなっている原因の根拠となっているもの、これが不用額としてこれだけ多額積まれてしまう理由をまず1つお伺いさせていただきます。

それと、基金を今回補正予算……一問一答ですか、はい。では、それだけ先に。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 不用額が大きかったものということのやはりじん芥処理費5,300万相当の中で、主なものの理由を申し上げたいと思います。

決算書の18ページをお開きいただければと思います。1行目の燃えるごみ等収集業務委託料、こちらにつきましては、委託料の中では性質上収集件数、処分量等により、実績により金額が変わるというケースがございます。1行目の燃えるごみ等収集業務委託料につきましては、単価契約でございまして、4月から9月、10月から3月と契約が2本でございましたが、この10月から新たな分別収集の変更ということでございまして、区域の見直し等がございまして、予算ベースよりも契約単価が下回ったというようなことがございました。ちなみに、また実績世帯数が見込み数よりも2,000世帯ほど下回りまして、このことによりまして1,260万円ほど不用額に、これが一番この中では多額の金額となっております。

また、2行目の焼却灰・ばいじんの処分業務委託料につきましては、処分量の減がございまして、

予算ベースから考えますと約233トンほど焼却灰のほうの処分量が少なくなりました……失礼しました。こちらのほうが金額が約1,470万円ほどの不用額が発生しております。こちらが一番高かったということでございますね。

このようなことで、内容的には収集件数、処分量等の実績に伴う係数で委託料が変わってくるといような、当組合のちょっと特殊な事情等というようにことが思われるという状況でございます。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 3番、森議員。

○3番 森 伊久磨議員 3番、森でございます。

今回、補正予算で2,500万円の精算金、整備基金を積みましたけれども、繰越金、そういうことで不用額が残った分を次年度の繰り越しにのせていると。繰り越し、今回も4,200万の補正で総額9,200万円の繰り越しを行っているわけですね。その中から、整備基金として今回2,500万円を積んだと。この決算の財産調書を見ても、基金の残高というのはちょっと出ていないようなのですが、現在の基金残高というのはどのくらいあるのですか。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 こちらの基金の関係なのでございますが、平成25年3月26日に組合議会のほうで初めて、今後の施設整備ということの予算を確保するためということで、基金条例のほうで制定されました。現在の施設、平成7年2月ごろですか、完成いたしまして、約18年を経過している施設でございます。環境省によりますと、こういった施設、高温多湿、腐食性の物質の関係から、非常に耐用年数というのは20年から25年の施設と言われている施設でございます。しかしながら、取り組みいかんによっては、経常的な費用のほかに特別な予算措置を行うことによりまして長寿命化ということで対策ができるということで、一応こちらの施設、平成40年度までは使うということを目標にしております。平成40年度に、こういった施設をもう一度新たにつくるということを試算しておりますが、約日量110トン、2炉ということで、粗大ごみ処理施設を含めまして約92億円という数字を試算しております。これですが、一どきに92億円という数字は大変な金額でございますので、循環型社会推進交付金、約3分の1、また国の財政融資資金、また県からのふるさと創造資金等、そういうものを除いた金額の一般財源ということで、3億8,300万円ほどが自己負担というように形になろうかと思ひまして、試算いたしますと3億3,300万円を今後15年積み立てができるということで、約2,500万円と。今回初めて目標額を毎年2,500万円ということで積み立てをしていくと、そのような形で臨んでおります。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 3番、森議員。

○3番 森 伊久磨議員 わかりました。

最後ですけれども、その繰り越しをして今年度から整備基金を積んでいって、2,500万積んでい

く。その残りの部分は翌年度に繰り越すか、もしくは精算金ですよね、各市にお戻しをすると。今回1,300万が蓮田で、白岡さんが2,100万円のお戻し精算金だということですがけれども、この精算金の推移というのを22年度ぐらいからちょっと、決算規模が大きくなっているわけで、私もこの3カ年しかちょっとこの決算書からは見えないのですけれども、この精算金の推移というもの、3カ年どのぐらいになっているかわかりますか。24年度わかりますけれども。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 返還年度ということで、平成22年度が5,596万8,000円、平成23年度につきましては3,213万円、平成24年度は2,429万6,000円、今年度、平成25年度ですが、1,725万3,000円でございます。

○黒須大一郎議長 3番、森議員。

○3番 森 伊久磨議員 ごめんなさい、蓮田と白岡それぞれのを教えてくださいいいですか。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 再度申し上げます。

平成22年度ですが、蓮田市、3,060万3,000円、白岡市、2,536万5,000円、合わせまして5,596万8,000円。平成23年度……失礼しました。平成23年度、先ほど3,213万円という報告をいたしました。しかしながら、3月補正だと思いましたが、分担金の精算、両市からの分担金を減額させていただいた関係があつて、この年は精算金がございます。平成24年度ですが、蓮田市、1,319万7,000円、白岡市、1,109万9,000円、合わせまして2,429万6,000円。平成25年度ですが、蓮田市、934万5,000円、白岡市、790万8,000円、合わせまして1,725万3,000円でございます。

○黒須大一郎議長 3番、森議員。

○3番 森 伊久磨議員 見ると、年々その分担金の精算金が下がっているということですよ。今回特に2,500万円の精算金の積み立てがあつたとはいえですよ。ただ、決算規模の歳出ベースは、先ほど言いましたように2億1,000万円この2年間でふえているわけですよ。ということは、実質負担金は毎年分担金は減り、精算金を積み立てたとしても、歳出……分担金の負担金額というのはふえているのだと思うのですよね。歳出ベースで上がっていますから、金額が。だから、先ほどの監査報告にもありましたように、不用額で予算措置の、これお互いの分担金で成り立っている事業ですから、できれば歳出が年々、年々上がっていくということもちゃんと見越して、不用額を減らすようにして、お互いの市も負担が少ないような形でやっていただきたいというふうに思うのですけれども、要望ですけども。よろしいでしょうか。

○黒須大一郎議長 中野管理者。

○中野和信管理者 ちょっと補足させていただきます。

決算でありますので、組合のほうの会計処理のちょっと課題なのですがけれども、確かに両市の負

担で、あと使用料でこれ成り立っているのですけれども、実際に当初予算の見積もり方も課題があるのですけれども、当初予算で24年度このように見積もって、途中で事業を推進していく中である程度当初予算の見込みが立つわけです。その段階で、例えばですと、両市の一般会計ですと、9月補正とか12月補正で事業を精査しながら、不用額が出たものは少しずつ落としたり、また必要なものは補正したりするのですけれども、こちらの組合の場合には、一応当初予算でいただいたお金をずっとやっていって、今回のように9月で、前年度の決算は精算しますけれども、当該年度の事業費についてはこういう形でそのままずっと推移してしまうという、そういうちょっと構造的な課題があります。本来でしたら、両市の一般会計の補正予算と同時に9月、12月でちょっと少しずつ整理していけばこういうことないのですけれども、多額の不用額出ることないのですけれども、ちょうど組合のほうの議会の関係、それから両市の議会の関係で、補正予算の組む時期とか、そういうものが非常に難しく、今それが課題になっております。今回も内部では、ちょっと見ますと、多額の不用額出ている形ですから、いかがと当然聞かれると予想していたのですけれども、実態はそういうことでありまして、できれば途中で何らかの形で両市の一般会計並みにああいう形で予算の整理ができるか。当初予算の見積もり方も問題あるのですけれども、もう少し精度を高めなくていけないのですけれども、そういう課題がございまして、その辺、我々も課題として受けとめております。どういう形かでこういう衛生費の大きな款の中に不用額でぼんと出すよりは、どういう形かでこちらの予算のやりくりとして、その増減分はどこかに整理してきてですね、3月ぐらいでうまく整理できれば、こういう多額の不用額は出てこないはずなのですから、ちょっと今後研究させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○黒須大一郎議長　ここで暫時休憩といたします。

休憩　午前10時21分

再開　午前10時35分

○黒須大一郎議長　再開いたします。

現在員11名でございます。

休憩前に引き続き会議を開きます。

質疑はありませんか。

1番、山口議員。

○1番　山口博史議員　決算書の18ページの13節委託料の中で、24年度から産業廃棄物、廃プラスチックの収集運搬事業委託ということなのですから、どの程度の需要があるのですか。簡単に言ってください。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 本事業につきましては、市内の小規模事業所から排出される廃プラスチック類の処分について、平成22年10月からモニター調査を開始しまして、その時の事業所から非常に好評を得た関係がありまして、本格的に始めた事業でございます。平成24年度につきましては、契約事業者数は80社に上っております。70リットルの袋で廃プラスチックを収集処分するものでございまして、蓮田市では1,478袋、白岡市では711袋の収集実績でございます。現在、平成25年9月末現在におきまして、契約事業者数は86社に上っております。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 3番、山口議員。

○1番 山口博史議員 1番、山口ですが。

○黒須大一郎議長 済みません、失礼しました。

○1番 山口博史議員 出してくれる事業者での反応以外は聞いているのでしょうか。

○黒須大一郎議長 斉藤廃棄物対策課長。

○斉藤 晃廃棄物対策課長 今までですと、排出事業者はみずからこちらのほうに運んで来ていたわけですけども、70リットルの袋を用意しまして、組合側で用意しまして、それを配布して収集業者さんが収集するというので、大変好評を得ております。

以上です。

〔「はい、ありがとうございました」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 失礼いたしました。

ほかに質疑ありませんか。

11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 11番、栗原勇です。

主要な施策に関する説明書の25ページなのですが、昨年の10月から収集体系の変更がありました。

この変更によってよかった点と、課題というか、混乱した点という総括はされているのでしょうか。

○黒須大一郎議長 斉藤廃棄物対策課長。

○斉藤 晃廃棄物対策課長 まず、収集区域を分けることによりまして、実際に収集に当たっております業者さんのほうからは、非常にスムーズな収集運搬が可能になったということで聞いております。また、課題としましては、ペットボトルを例にとりますと、ネット回収を10月から始めておりますので、その辺がまだまだ、一部の方かもしれませんけれども、まだまだネット回収で出していないところも若干あります。この辺につきましても、今後ともPR等々行いまして、完全なネット回収のほうにも進めていきたいというふうに考えております。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 栗原勇です。

今のことに関連して、なかなか収集の方法について、こうした説明書を配って、そのとおりに住民の方が出してくれればいいのでしょうかけれども、なかなかそういかないというふうなときに、どこが指導したほういいのか、悩むのですよ。その地域で自分たちで指摘し合いながら、と言っても、いや、その出し方が悪い場合に、誰がどう間違った、出し方がわからないという場合もあるのですね。ですから、決まったとおりに出していないところに対する指導について、どのように考えますかね。

○黒須大一郎議長 斉藤廃棄物対策課長。

○斉藤 晃廃棄物対策課長 実際にその排出者が特定できれば、もちろん職員のほうで現に指導に行っております。ただ、実際問題としましては、どなたがそういうものを出したかというのはなかなかわからないというのが実情でございます。

以上です。

○黒須大一郎議長 質疑はありませんか。

2番、石原議員。

○2番 石原富子議員 済みません。有料ごみの指定袋のことについてお伺いいたします。

基本的なことなのですけども、有料のごみ袋、各お店、スーパーなどで置いてありますよね。それを買いますけれども、これはここに手数料とかも書いてございますけれども、どういう流れで、例えばスーパーでは利益というか、幾らで出してやって……ごみ袋の流れというのを教えていただければと思います。

○黒須大一郎議長 斉藤廃棄物対策課長。

○斉藤 晃廃棄物対策課長 ただいまのご質問は、販売店さんへの手数料のことでよろしいのでしょうか。

〔「そうです」と言う人あり〕

○斉藤 晃廃棄物対策課長 有料指定ごみ袋は、45リットル、30リットル、20リットルとございますけれども、袋の大きさにかかわらず1枚3円の売捌手数料を販売店さんのほうに渡しております。

以上です。

○黒須大一郎議長 2番、石原議員。

○2番 石原富子議員 わかりました。では、このごみ袋を製作している業者というのは何社あるのでしょうか。1社でつくっているわけですか。

○黒須大一郎議長 斉藤廃棄物対策課長。

○斉藤 晃廃棄物対策課長 おっしゃるとおり、1社でございます。

〔「1社で一括して。はい、ありがとうございます」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 質疑はありませんか。

12番、鬼久保議員。

○12番 鬼久保二郎議員 12番、鬼久保です。

ちょっと、ペットボトルとか、最近ちょっと回収方法変わったのですけれども、それで今、回収場所というか、場所は従来どおり燃えるごみとかそういう一般のごみと同じところに置いてあるのですけれども、白岡、蓮田のごみ処理の関係は、私はちょっとずっと知っていますけれども、地元だから。このままずっと続けていくのか。というのは、ペットボトルのあの袋を狭いごみ置き場のところ置かれますと、ちょっと邪魔なときがあるのですね、最近ね。というのは、4メートルの公道とか、5メートルないか、4メートルぐらいの公道のところにああいうのを置かれるとちょっと困るので、回収方法、例えば私、加須市の例を言いますけれども、騎西地区のほうの町では、旧騎西町は、例えば神社とか特定の場所にペットボトルとか、袋ではなくて箱を置きまして、瓶とか、分別してそこに置くように指定場所を決めて、例えば白岡だったら神社とか児童公園の端っことか、そういう空き地を利用して、そこへ車で収集行くというか、市民がちょっと身近に置けなくなるからいいのですけれども、不便なのですけれども、ただ身近に置かれると迷惑する人もいますのですよね。さっき言った車で……何というのかな、余りはみ出してしまうというかな、その袋がね、道路に。そういう問題も最近出てきましたので、うちのほうの住宅地ではね。だから、ちょっと場所をこれから考えてもらってもいいのではないかと。統合してもらって、学校とか公園とか神社とかそういう公のところに借りて、そこに箱を置いてもらって、瓶とかペットボトルとか、それを騎西の町ではやっているみたいで、加須市ではね。私よく見るのですけれども、旧騎西町はそういう今でも続けていますね。加須市全体とは言えないのですけれども。それで、そういう方法もあるのではないのかなという、リサイクルの観点からもそうだし、あと収集する方がこの間みたいに事故、火災事故ありましたよね、車のね。ああいうことも袋の中に入れて出すというのは一番危ないような気がするのですよね。箱の中というか、特定の箱を用意しておいて、その中に瓶とかペットボトルとか分けて入れてもらってという方法もあるのではないかと。今私はちょっと質問しているのですけれども、組合はどういうふうに考えていますかねということ、これからも。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 集積所の関係なのですけれども、集積所は環境センターのほうで管理している部分ではございませんでして、何軒単位という形で地元の方がこういったところに集積所を設けてほしいという申請をもとに、車両等現場確認させていただきまして、ここで収集できるというスペースであればということで、うちのほうで集積所、毎年少しずつふえている状況でございますけれども、今現在約3,000カ所ほどの状況でございます。

また、今、拠点回収というふうなお話がありましたけれども、地元住民の方の、確かに収集効率としては当組合にとっては好都合のお話になろうかと思っておりますけれども、地域、地元の方の利便性がやはり損なわれるという意味合いの中では、その辺のところはいかがなものかということがご

ございますので、その辺のところはまた慎重な対応が今後求められるのではないかなと、そのようなことがございます。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 12番、鬼久保議員。

○12番 鬼久保二郎議員 今の続けて言いますけれども、今の意見は十分わかるのですけれども、それは私の知っている限り、白岡では、うちの近所では従来のごみの集積所にペットボトルとか曜日を決めてやっているのですけれども、年々ちょっと周りにアパートとかそういう人がふえますと、車で投げていくのですね。あと、関係ない人が、地域以外の方が車からおりてそこへ置いていってしまうのです、中へ詰めて。そうすると、先ほど言ったように、交通の邪魔にもなってくるような気がするのですね。場所とるので。それは、だから、処理センターの方をお願いするのではなくて、きっと町単位でね、これから住民にきつとお願いして場所を決めて、拠点にそういう資源回収というか、燃えないごみはやったほうが合理化にもなるし、危険性も少なくなるしと私は思うので、意見として言っているのです。旧騎西町は今でもそれ続けております。だから、それを見てちょっとうちらも、白岡も、蓮田も、住民にもっと協力をお願いすべきではないかと私は思って意見を述べました。一応要望です。

○黒須大一郎議長 答弁は。

○12番 鬼久保二郎議員 いいです。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はございませんか。

7番、菱沼議員。

○7番 菱沼あゆ美議員 7番、菱沼です。

1点ちょっと、ふれあい収集についてお伺いしたいのですが、件数として今現状何件、蓮田と白岡で別で件数を教えていただきたいのと、ふえている傾向なのかどうか、教えていただきたいと思っています。

○黒須大一郎議長 山崎リサイクル推進課長。

○山崎喜紀リサイクル推進課長 ふれあい収集の利用者件数でございますけれども、9月末現在で蓮田市が25件、白岡市が15件、合わせて40件ございます。それで、当初、スタート時点ですと、昨年度末、蓮田市が18件、白岡市が14件、32件でスタートしております。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 7番、菱沼議員。

○7番 菱沼あゆ美議員 ありがとうございます。

ほかにちょっとお聞きしたいことがありまして、歳入のごみ手数料の中で、官公庁のごみ収集が24年度は9件、16万2,000円ということで、前年比で80件減って157万減額になっておりますけれども、この80件減った要因というのは教えていただきたいと思っております。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 こちら官公庁ごみ収集手数料につきましては、現在委託というか……失礼しました。指定管理者制度というのが今公共機関になっていく状況がございまして、指定管理者に移行されますと、何年間か猶予をさせていただきまして、その後は一般の搬入ごみ手数料という形での取り扱いをさせていただく形になっておりまして、そういう関係がございまして、24年度は9施設でございますが、25年度に当たりましては、またその移行期間が切れた関係で、現在は25年度につきましては6施設という形での形に、そういう指定管理者になったところは最終的に一般搬入ごみ手数料という扱いになりますので、そういう形で、官公庁ごみ手数料がなくなっていくというようなことでございます。

○黒須大一郎議長 7番、菱沼議員。

○7番 菱沼あゆ美議員 2点お伺いしたいのですが、昨年ごみの収集が変わった時点で、金属ごみの指定の袋が使われなくなりまして、家庭に残っているものは使って構わないということでしたけれども、実際こちらで在庫として残った分があったとしまして、その処理というか、どのように行ったのか教えていただきたいと思います。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 引き続き金属類には各ご家庭に、今は5枚単位で販売するようになりましたが、旧来は10枚ということで販売しておりましたので、ずっと引き続き今後も、ご自宅にある在庫に関しては引き続きお出しできるという形をとっております。

○黒須大一郎議長 黒崎庶務課長。

○黒崎 晃庶務課長 済みません。以前の金属ごみの指定ごみ袋につきましては、販売店におきましては、新たな燃やせないごみ用の袋と交換をさせていただいて引き揚げをさせていただきました。また、配送センターのほうに保管されているもの、それから引き揚げたもの合わせまして、リサイクル処理をいたしましたので、現在在庫としてはこちらにはございません。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はありませんか。

11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 11番、栗原です。

主な施策のところの26ページですが、ダイオキシンの特定についてですが、それを見ると、年1回ということよろしいですか。

○黒須大一郎議長 千代事務局長。

○千代康弘事務局長 ダイオキシン類測定結果につきましては、年1回でございます。

以上でございます。

○黒須大一郎議長 11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 年1回というのは、その日にち、あるいは月によってダイオキシンの出る量

の変化というのがあるのではないかな。だから、年1回では個人的には少ないように思うのですけれども、基準として年1回でいいという基準なのでしょうか。

○黒須大一郎議長 小林施設課長。

○小林秀之施設課長 ダイオキシンの測定につきましては、ダイオキシン類対策特別措置法の第28条第1項に測定についての回数等が決められておりますので、それに準じて測定をするということでございます。全て毎日ずっと見ればいいというのがあるのですけれども、一応法令に基づいて測定してございます。

以上です。

○黒須大一郎議長 11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 そうしますと、これ見ると、1号炉、2号炉、3号炉それぞれ1回ずつで、その委託料が総額205万9,044円と。これ3回分でこの額というふうに考えてよろしいのでしょうか。

○黒須大一郎議長 小林施設課長。

○小林秀之施設課長 今おっしゃられた金額、205万9,044円につきましては、ダイオキシン測定以外にも、排ガスの測定といたしまして、ばいじんの濃度、窒素酸化物の濃度、硫黄酸化物の濃度、そのほか焼却灰の熱灼減量とか重金属の溶出試験、そういったその他ごみ処理施設維持に関する、そういった法令関係の測定業務全般でその金額ということになります。

以上です。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はございませんか。

11番、栗原議員。

○11番 栗原 勇議員 11番、栗原です。

同じく30ページ、セシウムの量ですが、平成24年5月10日から少しずつ少なくなっているなど思いつつ、セシウム137については平成25年3月6日に以前不検出というのが42出たと。これ一応基準以下ですけれどもね。それから、ばいじんのほうを見てみると、やはり平成24年5月10日から少し下がってはきているものの、やはり25年3月6日にはちょこっと上がっていますよね。その辺の変化はどういう理由だと思われませんか。

○黒須大一郎議長 小林施設課長。

○小林秀之施設課長 おっしゃられるように、数字については上がったり下がったりしております。ただ、全体的に申しますと、事故当時からどんどん下がっているという方向性は一緒でございまして、ある程度のばらつきというのは、一定のものがごみとして出てこない以上、あるのかなと感じております。特に、落ち葉とか、泥とか、そういったものがざっと来たときについてはやはり高くなるというような傾向があるというのはございますので、その時期によって多少のばらつきがあると推測しております。

以上です。

○黒須大一郎議長 ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。



◎討 論

○黒須大一郎議長 これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長 反対討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。



◎採 決

○黒須大一郎議長 これより採決に入ります。

議案第15号 平成24年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について、原案のとおり認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○黒須大一郎議長 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり認定することに決しました。

内田代表監査委員の退席を求めます。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時04分

○黒須大一郎議長 再開いたします。

現在員11名でございます。

休憩前に引き続き会議を開きます。

◇

◎副管理者の挨拶

○黒須大一郎議長　ここで、副管理者から挨拶のための発言を求められておりますので、これを許可いたします。

小島副管理者。

○小島　卓副管理者　それでは、閉会前に一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成25年第4回蓮田白岡衛生組合議会定例会のご案内を申し上げましたところ、議員皆様方におかれましては大変お忙しいところご出席をいただき、まことにありがとうございました。

今回、ご提案申し上げました案件につきまして慎重ご審議を賜り、ご可決、ご認定を賜り、まことにありがとうございました。

本日ご可決賜りました平成25年度一般会計補正予算につきまして、ご説明申し上げましたとおり、将来のごみ処理施設更新に向け、本年度から新たに施設整備基金として積み立てを行っていくこととなります。この基金の運用等につきましても、確実に行ってまいりたいと存じます。

なお、平成24年度一般会計歳入歳出決算認定につきまして、決算書による不用額が多額にあるとの指摘をいただきました。これらにつきましても、当初の予算編成のときに十分検証したり、あるいは年度期間中の予算執行状況の適正な管理に十分意を注いでまいりたいと存じますので、ご理解、ご指導くださいますようお願いを申し上げます。

今後とも、職員ともども住民サービスを第一に考えまして、生活環境のさらなる向上を目指して職務に精励し、努力してまいります。

また、今月29日には、当組合議会の視察研修が予定されておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今後も議員の皆様方のご指導、ご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げまして、閉会前のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

◇

◎閉会の宣告

○黒須大一郎議長　以上をもって、本定例会に付議されました案件の審議は終了いたしますが、閉会にしてご異議はございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○黒須大一郎議長　ご異議なしと認めます。

これをもって平成25年第4回蓮田白岡衛生組合議会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会　午前11時07分